

第62回全国信用組合大会における全信中協黒岩会長挨拶

はじめに

本日、ここに第62回全国信用組合大会を開催いたしましたところ、皆さま方には、何かとご多用の中を全国各地より、多数のご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

特に公務ご多用の中、谷川内閣府副大臣、宮本経済産業副大臣、内田日本銀行副総裁、森全国中小企業団体中央会会長ならびにご来賓各位のご臨席を賜りまして、誠に光栄に存じます。

信用組合業界を代表いたしまして、厚く御礼申し上げますとともに、平素より私ども信用組合に深いご理解と変わらぬご支援を賜っておりますことを、ここに改めまして、感謝申しあげる次第でございます。

さて、熊本地震をはじめ、全国各地で豪雨災害等の自然災害が相次いでおります。これらの災害により亡くなられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

本日は、私ども信用組合業界を取り巻く課題等について、申し述べさせていただくとともに、ご来賓の方々から、ご挨拶を賜りまして、私ども信用組合の今後の経営の指針とさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

信用組合業界を取り巻く課題等について

それでは、「信用組合業界を取り巻く課題等」につきまして、3点申し述べさせていただきます。

《事業者・生活者支援の推進について》

第一に「事業者・生活者支援の推進について」でございます。

信用組合の主なお取引先である中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、物価高騰や人手不足、後継者不足などの課題が深刻化しており、依然として厳しい状況が続いております。地域の事業者は、雇用を支えるとともに地域経済の活力を生み出す重要な担い手であり、その持続的な成長と発展なくして、地域社会の未来を描くことはできません。

こうした状況のもと、私たち信用組合には、協同組織金融機関としての役割を発揮し、地域の事業者に寄り添いながら課題解決を支援していくことが強く期待されています。資金面での支援はもとより、事業承継や人材確保、生産性向上などの経営課題に対して、きめ細かな伴走支援を行い、事業者が将来に希望を持ち、新たな挑戦を続けられる環境づくりを進めていくことが重要であります。

また、地域社会の発展のためには、事業者支援とともに、地域で暮らす生活者への支援も欠かせません。デジタル技術の進展により、金融や行政をはじめとするさまざまなサービスが大きく変化するなか、利便性の向上と多様なニーズへの対応に加え、サイバーセキュリティの確保や個人情報保護の

徹底を通じて、利用者が安心して金融サービスや各種デジタルサービスを利用できる環境の整備がこれまで以上に求められています。

さらに、将来への安心を支えるためには、家計の安定と資産形成の促進も重要な課題であります。住宅取得や教育資金の準備、老後への備えなど、人生のさまざまなライフイベントに寄り添い、一人ひとりの状況やニーズに応じた相談機能の充実と、きめ細かな金融サービスの提供に努めていく必要があります。

また、NISA 制度の拡充など、次世代を担う子どもたちの将来に向けた資産形成や金融リテラシーの向上についても、幅広い世代への理解促進と適切な情報提供を進めていくことが重要であります。

私たち信用組合は、相互扶助の精神のもと、地域金融力を最大限に発揮しながら、地域経済を支える中小企業・小規模事業者への支援と、生活者一人ひとりの安心で豊かな暮らしを支える取組みを両輪として推進してまいります。そして、組合員をはじめとする多くの皆さまと歩みをともにしながら、活力と希望に満ちた持続可能な社会の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。

ご当局におかれましては、引き続き、中小企業・小規模事業者の状況を注視していただくとともに、必要に応じた適切なご指導・ご支援をお願い申しあげる次第でございます。

《デジタル技術・AI の活用推進について》

第二に「デジタル技術・AI の活用推進について」でございます。

少子高齢化や人口減少の進展に加え、デジタル技術や生成 AI の急速な普及により、金融サービスを取り巻く環境は大きく変化しております。こうした中、信用組合が金融面・非金融面の両面から事業者や生活者を支える役割を果たしていくためには、対面によるきめ細かな支援という強みを維持・発展させながら、デジタル技術を活用した利便性の高いサービスの提供を進め、より付加価値の高い支援を実現していくことが重要であると考えております。

また、業務の効率化や生産性向上、お客様への提案力の強化を図るうえで、AI をはじめとする先端技術の活用は大きな可能性を有しております。一方で、デジタル化の推進には、システムの高度化や共同化に向けた投資に加え、デジタル人材の確保・育成やサイバーセキュリティ対策の強化など、継続的な取組みが不可欠であります。

このため、業界全体として効率的かつ持続可能なデジタル基盤の整備を進めるとともに、デジタル技術と信用組合ならではの強みを融合させることにより、お客様の利便性向上と地域金融力のさらなる向上に努め、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

ご当局におかれましては、信用組合がデジタル技術や AI の活用を着実に推進し、その機能を十分に発揮できるよう、引き続き必要なお支援とご配慮を賜りますようお願い申しあげる次第でございます。

《持続可能な組織運営基盤の強化について》

第三に「持続可能な組織運営基盤の強化について」でございます。

先の課題の中でも述べたとおり、信用組合を取り巻く経営環境は、社会・経済環境の変化と経営管理上の要請の高まりを背景に大きく変化しております。このような環境変化に的確に対応していくためには、健全かつ持続可能な組織運営基盤の確立が不可欠であります。

そのためには、経営管理態勢の充実、ガバナンス機能の強化、コンプライアンスの徹底をはじめ、リスク管理態勢の高度化や人的資本への投資を通じて、組織全体の力を高めていくことが重要であると考えております。また、職員一人ひとりが能力を十分に発揮できる職場環境の整備や、次代を担う人材の確保・育成にも継続的に取り組んでいく必要があります。

私ども信用組合業界といたしましては、経営の健全性と透明性の向上に努めるとともに、強固なガバナンスとコンプライアンス意識の醸成を図り、変化する環境に柔軟に対応できる持続可能な組織運営基盤の強化に取り組んでまいり所存でございます。

ご当局におかれましては、信用組合業界を取り巻く諸課題について深いご理解を賜りますとともに、信用組合が協同組織金融機関としての社会的使命と役割を着実に果たしていけるよう、引き続き適切なご指導・ご支援をお願い申し上げる次第でございます。

おわりに

以上、種々申しあげましたが、社会・経済環境が大きく変化する時代だからこそ、人と人とのつながりを基盤とする協同組織金融機関としての信用組合の役割は、ますます重要になるものと考えております。このため、全国143の信用組合と中央組織が力を合わせ、事業者や生活者の皆さまの期待に応えながら、社会から必要とされ続ける存在を目指してまいり所存でございます。

どうか、本日ご臨席の関係各位におかれましては、私ども信用組合の様々な取り組みに対し、深いご理解をいただきますとともに、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげ、私の挨拶とさせていただきます。

以 上